

令和元年度（2019年度）

北海道・札幌市政策研究みらい会議

活動実績報告

令和2年（2020年）3月

1 北海道・札幌市政策研究みらい会議について

2 活動実績

(1) 活動経過

(2) 動画「日常生活で実践できるSDGs」

(3) 図書館利活用イベント「ワーク・ライフ・ライブラリー」

(4) 「北海道の観光とモビリティを考える」勉強会

(5) 広報活動

(6) その他の活動

3 まとめ

1 北海道・札幌市政策研究みらい会議について

位置づけ

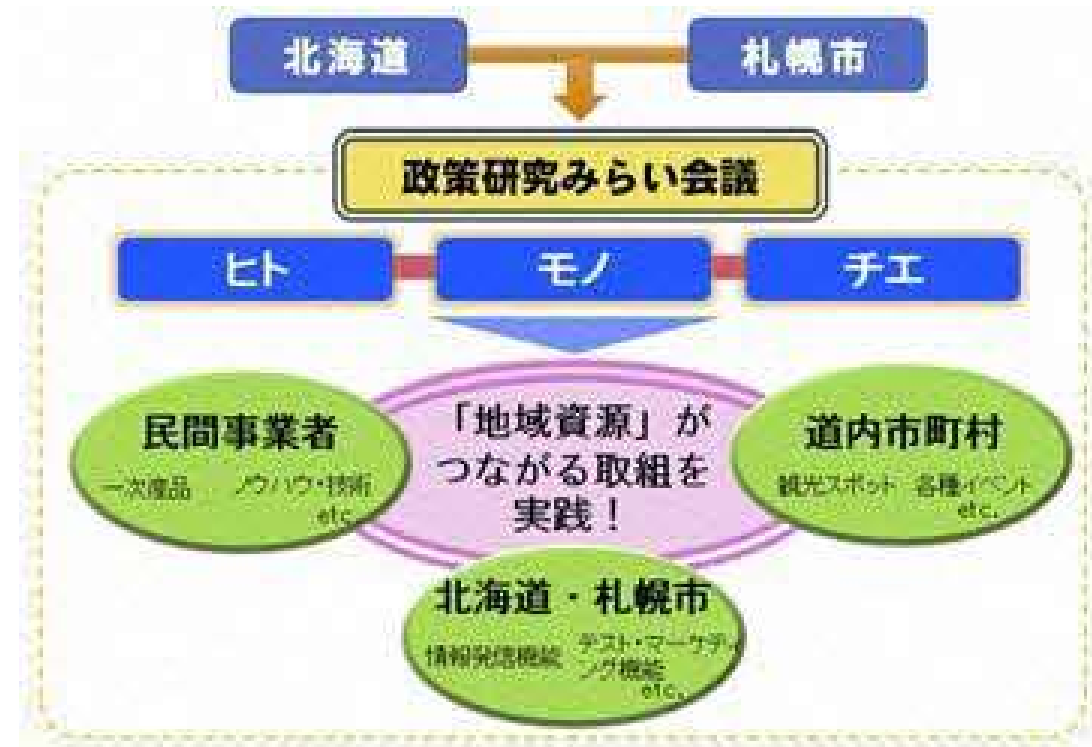
北海道知事と札幌市長が意見交換を行う「北海道・札幌市行政懇談会」において合意された、両組織の若手職員による分野横断的なプロジェクト。

目的

両組織の未来を担う人的ネットワークの拡充を図るとともに、自由な発想による「北海道のより良きみらい」に資する活動を企画・実践。



「資源価値の向上」や「交流人口の増加」といった北海道の発展につながる可能性を探求。



1 北海道・札幌市政策研究みらい会議について

○令和元年度（2019年度）メンバー

北海道

総合政策部政策局	峰岸 雅俊
総合政策部政策局土地水対策課	川崎 晴香
総合政策部情報統計局統計課	赤司 寧乃
総合政策部地域創生局地域戦略課	横浜 賢
総合政策部地域振興局市町村課	畠山 政和
農政部生産振興局技術普及課	末岡 さつき
石狩振興局産業振興部林務課	木村 真悟

札幌市

まちづくり政策局政策企画部企画課	加賀谷 紗歩
財政局南部市税事務所納税課	高桑 裕太
財政局南部市税事務所固定資産税課	菅野 芽依
保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課	林 里樹
中央区保健福祉部保護二課	工藤 空
北区保健福祉部保健福祉課	竹村 秀美
北区保健福祉部保護一課	小村 拓翔

2 活動実績

(1) 活動経過

令和元年（2019年）

8月30日	第1回会議（メンバー顔合わせ、活動方針の共有）
9月26日	第2回会議（企画案についての意見交換）
10月2日～3日	「まるごと根室直送市」参加
10月18日	第3回会議（企画内容の決定）
12月20日	第4回会議（企画の進捗確認）

令和2年（2020年）

1月10日	「第2回SDGsクリエイティブアワード」応募
1月14日	北海道開発局「開発行政スキルアップ研修」参加
1月22日	図書館利活用イベント「ワーク・ライフ・ライブラリー」開催
1月29日	「北海道の観光とモビリティを考える」勉強会開催
2月7日	「SDGs×北海道 交流セミナー2020」参加

2 活動実績

(2) 動画「日常生活で実践できるSDGs」

目的

○持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために定められたSDGs（持続可能な開発目標）では、全ての人それぞれの立場から行動することが求められているため、一人一人がハードルを感じることなく、SDGsの達成につながる行動のきっかけとなる方法について検討する。

取組

1 SDGs動画の制作及びコンテストへの応募

- (1) 制作期間：令和元年（2019年）12月～令和2年（2020年）1月
- (2) 内容：起床から就寝までの1日の様子とSDGsを組み合わせた1分間の動画「日常生活で実践できるSDGs」を制作し、映像コンテスト「第2回SDGsクリエイティブアワード」に応募。

2 「SDGs×北海道 交流セミナー2020」への参加（会場：北海道大学）

- (1) 日時：令和2年（2020年）2月7日（金）13:30～17:00
- (2) 内容：会場内で上記動画を放映し、意見交換。

その他の取組

動画の制作に当たり、SDGsへの理解を深めるため、みらい会議メンバーによる勉強会を開催。



動画「日常生活で実践できるSDGs」

視聴者の意見等

- この動画は、SDGsに取り組むきっかけづくりに良いと思った。
- SDGsはよく聞く言葉であったが、概要すらわからない状態だったので、動画はとても参考になった。
- 動画は視覚的に訴えかけることができるため伝わりやすく、また内容も馴染みやすくて良かった。

成果

- SDGsを知るきっかけとして、気軽に見ることができる動画という方法は効果的であった。
- SDGsは難しいと感じる人が多い中、日常生活とSDGsを組み合わせた内容にしたことにより、身近なものであると感じてもらえた。



今後の展望

- SDGsの普及啓発の方法として、動画という手法や「日常生活」という視点を取り入れることは、有効であると考えため、今後のSDGsの普及啓発を検討する際の一助となることを期待したい。
- 今後は、個人だけではなく、企業や団体などの様々な立場の方がSDGsの取組を行うことができるよう、普及啓発の在り方について検討していく必要があると考える。

2 活動実績

(3) 図書館利活用イベント「ワーク・ライフ・ライブラリー」

目的

- 図書館を利活用した新たな「働き方」を提示することで、業務改善について考える契機とする。
- ワーク・ライフ・バランスなどに関する知見を深めるとともに、北海道・札幌市職員の「働き方」に対する価値観を共有し、職員相互の交流を図る。

取組

「ワーク・ライフ・ライブラリー」の開催(会場：札幌市図書・情報館等)

- 1 日時：令和2年(2020年)1月22日(水)18:30~20:30
- 2 参加者：北海道・札幌市職員 29名
- 3 内容：「はたらくをらくにする」をテーマとして、図書・情報館の見学、図書・情報館の浅野館長と恵庭市教育委員会の黒氏課長によるクロストーク、参加者によるビブリオバトルを実施。

その他の取組

平成28年(2016年)に開館した「札幌市えほん図書館」の認知度を高めるため、施設の魅力や活用方法について取材し情報発信。



参加者の意見等

- これまで業務のことで図書館を利用したことはなかったが、図書・情報館館長からの話を聞いて、働く人こそ図書館を利活用するべきであると感じた。
- このイベントでは、初対面の相手と気軽に話せる雰囲気があり、講師や参加者の間でコミュニケーションが取りやすかった。

成果

- 参加者アンケートでは、約8割の参加者が「今後業務で図書館を利活用したい」と回答し、図書館を利活用した新たな働き方や業務改善について考えるきっかけを提供できた。
- 施設見学やビブリオバトルを取り入れたことにより、参加者間でのコミュニケーションが取りやすくなり、普段関わることのない他部局の職員や、北海道・札幌市職員との垣根を越えた交流ができた。

今後の展望

- 調べ物をする際の第一歩として、図書館のレファレンスサービスを活用することで、時間を削減し、職員のタイムマネジメントに新たな道が拓けると考える。
- 業務中においても図書館を活用することへの理解が広がり、新しい「働き方」の確立に繋がることを期待したい。
- 上記のほか、趣味を広げたり、休日に子どもと訪れたりするなど、北海道・札幌市職員に生活の一部として図書館を利用してほしい。

2 活動実績

(4)「北海道の観光とモビリティを考える」勉強会

目的

- サイクルツーリズム等を取り入れたスイスの観光モデルについて学び、札幌市をはじめとする道内における新たな観光モデルの検討等に活用する。
- 日本国内や道北の事例を知り、道内での自転車を活用した「アドベンチャーツーリズム」についての可能性を探る。

取組

「北海道の観光とモビリティを考える」勉強会の開催（会場：北海道庁）

- 1 日時：令和2年（2020年）1月29日（水）18:00～20:00
- 2 参加者：北海道・札幌市職員 43名
- 3 内容：北見工業大学の高橋教授によるスイスモビリティの事例紹介と北海道版スイスモビリティの展開と可能性についての講演。
北海道開発技術センターの原理事によるサイクリングを中心としたアドベンチャーツーリズムと公共交通機関の連携等についての講演。

※アドベンチャーツーリズム～アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行スタイル。

参加者の意見等

- スイスモビリティという単語は知っていたが、具体的な内容について知ることができ、大変有意義であった。
- 北海道版スイスモビリティを実現するには、スイスと比べて自転車利用者が少ないことや、道路や案内板等のハード面の整備が必要であることなどの課題があり、実現にあたっての難しさを実感した。

成果

- 参加者アンケートでは、約7割の参加者が勉強会の内容について「満足・やや満足」と回答し、北海道・札幌市職員に、スイスモビリティやアドベンチャーツーリズムについて知ってもらえる機会を提供することができた。
- スイスモビリティやアドベンチャーツーリズム導入にあたっての課題を参加者と共有することができた。



今後の展望

- 北海道のアドベンチャーツーリズム推進に向けて、スイスや国内の事例を参考に北海道・札幌市ならではの観光モデルを構築することが必要であると考える。
- 2021年に体験型観光の世界会議「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット」の北海道開催が内定したため、北海道の豊富なコンテンツを世界に向けて発信することが期待できる。

2 活動実績

(5) 広報活動

目的

○みらい会議の活動内容を周知するとともに、北海道・札幌市職員のみらい会議への参加意欲醸成を図る。

取組

1 Facebookへの投稿

10月：第1回会議

「まると根室直送市」

11月：第2回・第3回会議

1月：第4回会議

北海道開発局「開発行政スキルアップ研修」

2月：図書館利活用イベント「ワーク・ライフ・ライブラリー」

「北海道の観光とモビリティを考える」勉強会

3月：動画「日常生活で実践できるSDGs」

「SDGs×北海道 交流セミナー2020」

「札幌市えほん図書館訪問」

2 北海道電子掲示板への掲載

1月：図書館利活用イベント「ワーク・ライフ・ライブラリー」の周知及び参加者募集

2月：「北海道の観光とモビリティを考える」勉強会の周知及び参加者募集

3 札幌市職員向け庁内ホームページへの掲載

上記Facebookの投稿内容のほか、今年度から札幌市職員だけではなく、北海道職員のメンバー紹介も掲載。

成果

○勉強会やイベントでは取り上げることができなかった各企画に関連する話題についても、実際に取材を行い、情報発信することができた。

○札幌市職員向け庁内ホームページにおいて、北海道職員のメンバー紹介を掲載したことにより、北海道職員と札幌市職員が一緒になって活動する際の具体的なイメージを持ってもらい、今後、みらい会議へ参加したいと考えている若手職員の意欲を高めることができた。



札幌市職員向け庁内ホームページ



Facebook

2 活動実績

(6) その他の活動

1 「まるごと根室直送市」への参加

ねむろ水産物普及推進協議会及び根室市が主催する「まるごと根室直送市」において、次のとおりイベント補助を行った。

- 日時：令和元年（2019年）10月2日（水）～3日（木）
- 会場：北海道庁赤れんが庁舎前庭
- 内容：根室さんまロール寿司や根室産マイワシの新ブランド「根室七星」を使用したつみれ汁の販売、飲食ブースの整列・清掃などのイベント補助を行った。
- 成果：さんまをはじめとする根室産水産物の販売等を通じて、特産品の普及・宣伝や消費拡大の取組に触れ、地域資源の活用方法を考える機会となった。



2 北海道開発局「開発行政スキルアップ研修」への参加

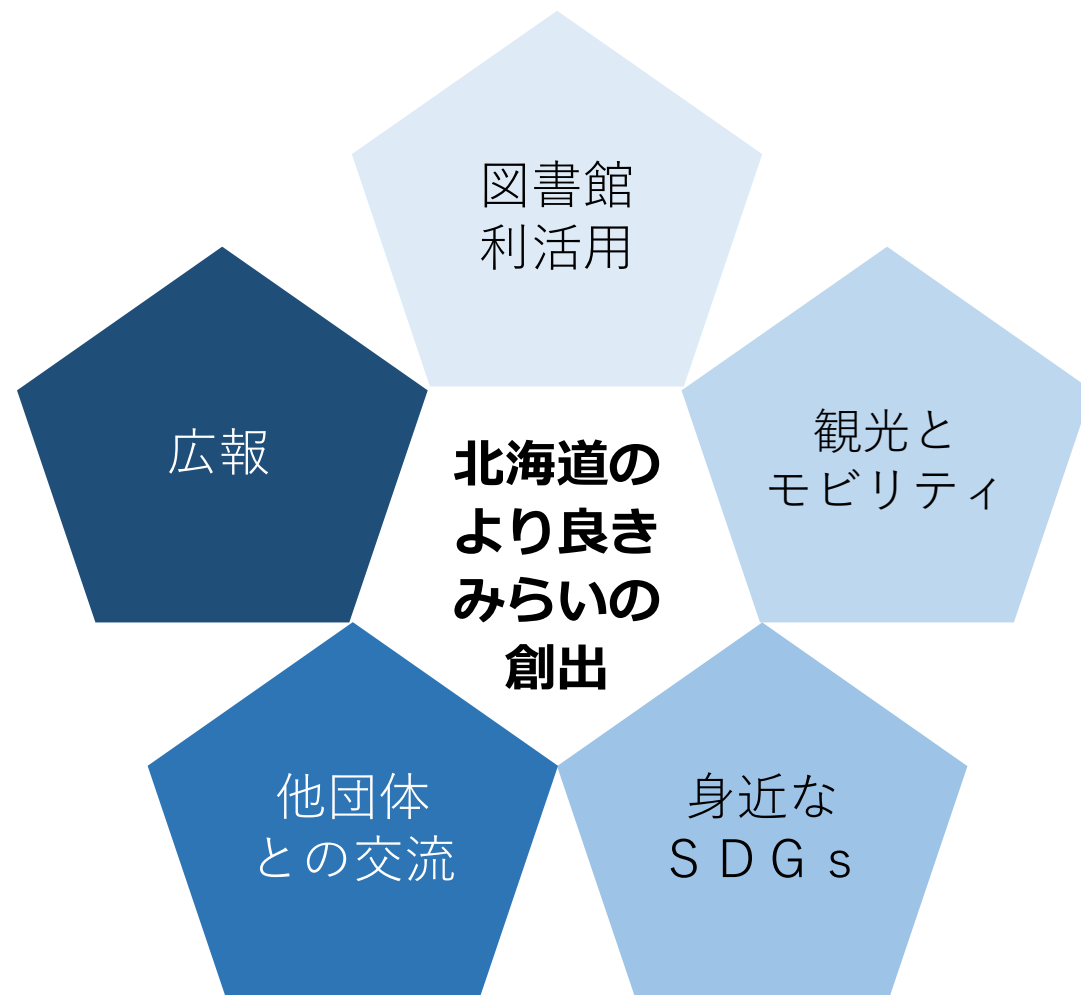
北海道開発局が若手職員・中堅職員を対象に行政スキルの向上や人脈形成を目的として実施する「開発行政スキルアップ研修（北海道つながるプロジェクト）」の意見交換会に参加した。

- 日時：令和2年（2020年）1月14日（火）15:00～17:00
- 会場：TKP札幌駅カンファレンスセンター
- 内容：IT活用や国際協力の視点から見た地方創生・地域活性化に関する講演のほか、北海道・札幌市政策研究みらい会議の活動報告を行った。
- 成果：講師や北海道開発局職員との意見交換を通じて、地方創生・地域活性化の事例について学び、地域政策の企画立案の参考となった。



3 まとめ

- 普段の業務とは異なる視点を持って、自由な発想で考える楽しさの一方で、企画の意義や既存事業・施策との差別化などを検討しなければならず、難しさを痛感した。
- 根室市や北海道開発局の取組への参加は、地域活性化における新たな視点を得るだけでなく、人的交流を深めることができた。
- 北海道・札幌市のみならず、組織の垣根を越えたつながりは、今後のみらい会議の活動の幅を広げ、「北海道のより良きみらい」の創出につながるものである。



今年度のみらい会議の取組にご協力いただいた皆様に心から御礼申し上げます。